

Weekly Report

2022.09.27 第1671回

Rotary



イマジン
ロータリー

2022-23年度クラブテーマ

友情を育み 寛容のべで
地域に 世界に 行動しよう

会長 大野芳裕 幹事 中川夕香

東京立川こぶしロータリークラブ

District 2750 Since 1986.2.5

卓話例会 「フェンシングの魅力」

フェンシング日本代表 江村美咲様 (株)立飛ホールディングス所属



会長挨拶及び会務報告・お客様ご紹介 大野芳裕会長

●本日、PBG 50 周年式典のお知らせをメールボックスに配布させて頂きました。PBG とは Pacific Basin Group (パシフィック・ベースン・グループ) の略で、グアムやサイパンなどの 8 クラブが所属しています。ロータリークラブは 200 カ国 35,000 クラブ、会員が 1,220,000 人、世界に幅広く会員がいます。そして、そのロータリークラブは 520 地区、34 のゾーンに分かれています。PBG は私達と同じ第 2 ゾーンの第 2750 地区に所属しています。これを機になかなか交流しにくい PBG のクラブと交流しようというのが、Group For One (グループフォーワン) です。Group For One は 2006 年から出されている指針ですが、年度にはらつきがありました。今年度は来年 3 月を目指して、各グループが PBG のクラブとペアとなってやっていることになり、我々のクラブが多摩中グループ協議会からお願いされ、グアム RC との窓口となりました。

当クラブは、地区においてもグアム RC と大変ご縁があると聞いています。当クラブから 2008-09 年度の地区ガバナーとして新藤信之ガバナーを輩出しました。この年 2009 年 2 月にグアムで地区大会が行われ、当クラブの多くの会員が参加して、お手伝いをさせて頂くとともに、PBG のクラブと交流が深まりました。1952 年から約 70 年間、毎年 12 月に行われている米空軍のボランティアが、空中からミクロネシア諸島の人々に援助物資を投下するクリスマスドロップ事業がありますが、2010 年、鈴木茂会長年度から当クラブの継続事業として支援をすることになりました。また鈴木茂会長の創立 25 周年の時、記念事業としてクリスマスドロップの絵本を作り販売し、その売上を支援金にしたと聞いています。

また、グアム RC は 1973 年から軽井沢 RC と姉妹クラブを締結していて、グアムの学生交流基金事業を軽井沢 RC が行っています。その関係でグアム RC が毎年 6 月の合同例会の帰りに当クラブに寄って頂き、交流を図ってきました。Group For One ではどのような事業をするかはこれからですが、これを機にグアム RC の歴史や縁を大切にして頂ければと思っています。

卓話講師：江村美咲様 解説：刈屋富士雄様



●本日の卓話講師の江村美咲選手は、現役で世界的に活躍する選手です。なかなかこのような話を聞く機会はないのではないかと思っています。心から感謝するとともに、現役選手ならではのお話を聞けることを楽しみにしています。

また、立川ダイスの方が来てますが、15 日、16 日のホーム開幕戦、チケットの購入にご協力頂ければと思います。

◆本日のお客様

江村美咲様 (卓話講師：フェンシング日本代表)

刈屋富士雄様 (元 NHK アナウンサー及び解説員・
(株)立飛ホールディングス執行役員)

安藤憲仁様 ((株)エクストドリーム・スポーツ)

藤本 勇様 ((株)立飛ホールディングス 取締役)

井上心次様 ((株)立飛リアルエステート 取締役)

藤島裕輔様 (同 不動産部)

原 宏樹様 (一般社団法人 多摩スポーツクラブ代表理事)

山根謙二様 (同 チーム統括)

例会次第 司会進行 SAA 丸山瑞枝副委員長

開会点鐘	大野芳裕会長
ロータリーソング「我等の生業」	
会長挨拶及び会務報告・お客様ご紹介	大野芳裕会長
幹事報告	中川夕香幹事
委員会報告	2021-2022決算の件 R財団・米山奖学金委員会
ニコニコ発表	親睦活動委員会
出席報告	出席委員会
卓 話 「フェンシングの魅力」	江村美咲様
閉会点鐘	大野芳裕会長

幹事報告

中川夕香幹事

◆報告事項・会議のお知らせ

スケジュール等は配布資料を確認下さい。



◆連絡事項

- ①Group For Oneについては、来年3月19日から25日まで、ロータリーウィークとしてグアムで50周年式典やゴルフなど開催されるかと思います。
- ②10月24日(月)銀座プロッサムにて、世界ポリオデーと題して、映画「プレス～しあわせの呼吸」やトークショーが行われます。この映画の視聴をご希望の方は、幹事または事務局へ。
- ③出席アプリは、すでに10月から12月の予定が入っています。登録の皆様は前週の金曜日までには例会の出欠を入れて頂ければと思います。
- ④11月9日(水)に第2750地区の第90回多摩中グループチャリティー親睦ゴルフ大会が、メイプルポイントで開催されます。参加希望の方は、10月5日(水)までに幹事または事務局まで。

委員会報告

◆2021-22年度 熊田善和幹事

本日は 2021-22 年度清水年度のクラブ活動報告書・決算書をメールボックスに配布しましたので、ご確認頂ければと思います。



◆R財団・米山奨学委員会

9月6日の例会から今月の例会は会場の入り口で皆様に寄付のお願いをしてまいりました。70名の会員から152万円という多額の寄付を頂くことが出来ました。米山奨学会をとおして、奨学生への学費に充当させて頂きます。



【立川ダイス開幕戦について】

一般社団法人多摩スポーツクラブ 原 宏樹様
山根謙二様

立川ダイスのホーム戦が10月15日、16日に迫っています。立川で初めて立川を冠としたチームが試合をしますので、是非、お越頂ければと思います。



「フェンシングの魅力」

フェンシング日本代表 江村美咲様
司会進行 刈屋富士雄様



(※今回は対談形式の卓話となりました。敬称略)

《自己紹介・講師紹介》

刈屋富士雄様

2004 年のアテネオリンピック体操男子団体の決勝で、28 年振りに王座を奪回した時、「栄光への懸け橋だ！」と実況し、その 2 年後、荒川静さんがトリノオリンピックで金メダルをとった時に「トリノの女神は荒川静にキスをしました！」と実況したのが私です。夏と冬に金メダルの実況をして、当時から縁起の良いアナウンサーだと言われ、その縁起の良さを買われて、江村さんがプロデビューした後も、記者会見の際には、司会をずっとやらせて頂いています。

江村様は、昨年中央大学法学部を卒業されて、株立飛ホールディングスと所属先契約を結んだ日本のフェンシング界初めてのプロのフェンシングの選手です。東京オリンピックに出場し、本人としては不本意な成績でしたが、今年に入ってワールドカップ、そして、世界選手権でチャンピオンとなりました。女子選手が世界選手権でチャンピオンになったのは、彼女が初めてです。

刈屋：フェンシングの種目には、フルーレ、エペ、サーブルと3種目ありますが、そのルールの違いは何ですか。

江村：エペは、全身すべてが有効面で、突けば点が入るシンプルな種目です。昨年の東京オリンピックフェンシング団体で金メダルを獲った種目です。フルーレは、胴体のみが有効面の種目です。

ただ、突けば勝てるというのではなく、攻撃権があって、しっかり権利をとって突けば点が入る種目です。サーブルは今私がやっている種目で、有効面は上半身のみで、これも攻撃権をとって突かないと点が入らないものです。一番の特徴は、突くだけでなく斬りもOKな種目となります。

刈屋：エペはどこでも良い。足の裏でも良いのですね。サーブルはどうして上半身だけなのですか。

江村：サーブルは元々は騎馬戦から始まっていて、馬に乗っていた種目なので、馬を傷つけてはいけないところから有効面が上半身だけとなっています。

刈屋：攻撃権とは何ですか。

江村：エペの場合、電気審判器が双方についた時は、両者に点が入りますが、フルーレとサーブルは、両方についても、引き分けか、どちらかにしか点が入りません。その攻撃権を取るには、相手より先に攻撃を仕掛けた方に攻撃権があり、攻撃を避けてから攻撃権を得て攻撃するという複雑なルールがあります。

刈屋：試合中は、かなりの声を出していますね。声を出すことは必要なですか。

江村：フェンシングの選手は雄叫びのような声を上げて審判にアピールします。審判へのアピールと自分への気持ちを高めること、緊張と不安がある時には、無理やり声を出す事で、感情が吹き飛んでいきます。一点点、一試合 15 点勝負なので、その点を獲る度に声を出しています。

刈屋：フェンシングは何点獲ったら勝ちなのでしょうか。

江村：予選は、5 点勝負の総当たりで、トーナメントは 15 点勝負となります。フルーレとエペは 3 分の 3 セットと決まっています。サーブルの場合は 3 分と決まっていますが、試合展開が早く 3 分を使い切らないので、タイムを計らない場合が多いです。

刈屋：時間が来たら、ポイントリードの方が勝ちで、時間が来る前に 15 点とったらそっちが勝ちとなるのですね。

フェンシング選手の目指している国際大会が 5 つあるそうですが。

江村：一番大きいのは 4 年に一度のオリンピックです。世界選手権とアジア選手権が年に 1 回でその年のチャンピオンを決めます。そしてグランプリ大会が年に 2、3 回、ワールドカップが年に 5 回あります。一年間に 10 大会を毎年戦っています。

刈屋：今回世界選手権で日本の女子が頂点に立ったのが初めてのことでした。特にサーブルは、日本人にとっては少し不利と言われていた競技ですね。

江村：日本は元々フルーレを強化していて、サーブルの選手や指導者がいない状況が続いていました。私が始めたのが中学一年生の頃で、当時は、サーブルを専門でやる選手は、私の年代が初めてだったので、スタートが遅く世界と差が開いていた種目でした。

刈屋：日本がフルーレに力を入れたのは、日本人は体が小さいので的が小さくなる。だから世界で戦えるのではないかということでフルーレの強化をしたそうですが、サーブルは上半身どこでもとなり、欧米の手足の長い選手には有利なのですね。

フェンシングを始めたきっかけは何ですか。

江村：両親がフェンシングをやっていたことが大きかったです。最初はフルーレを始めていました。中学一年のタイミングでサーブルの大会があり、その時の景品が、当時私が好きだった「ウサビッチ」というキャラクターのパズルだったので。それが欲しくて初めてサーブルの大会に出て優勝して、すごく楽しいと思ったのがきっかけでした。

刈屋：サーブルの魅力は何ですか。

江村：どの種目より試合展開が早く、あっという間に勝敗がついてしまうところが面白いと思ったことと、突きだけでなく斬るという動作も入ってくるので、より動きがダイナミックで、そこに魅力を感じました。

刈屋：大学を卒業して企業に所属しないで、なぜプロになろうと思ったのですか。

江村：一つには、本来なら、大学 4 年生の時にオリンピックに出場して大学を卒業する予定でしたが、オリンピックが延期になったことで、出場できないまま卒業を迎ってしまいました。当時、数社からスポンサーとして応援して頂いていたので、恩返しができないまま特定の企業に就職することに納得できませんでした。もう一つは、人がまだやっていないことを自分がやることが好きで、今回もチャンスがあれば、自分が第一人者として、新しい挑戦をしてみたいと思ったことです。

刈屋：江村さんから見たフェンシングの魅力は。

江村：一番楽しいと思う瞬間は、相手との駆け引きです。一瞬で勝負が決まるので、ジャンケンのような一発勝負のように思われがちですが、相手の距離や、相手のどこに斬りに行くか、歩幅やスピード等いろいろな事を考え、考えた通りに体が動いてそれが決まった時は、本当に気持ちが良いです。一本勝負で勝敗が決まるので、その緊張感もすごいですし、那一本で何をするかを決めるのも、その前の 14 点まで振り返って、考え尽した上で答えなので、お互いに出した答えが、どっちがさらに上回っていたのか、本当に頭脳戦で面白いと思います。

それと、個人競技でもあり団体戦でもあるので、前日まで敵だった人と今度は仲間になって戦う。剣道みたいに勝数で決めるのではなく、全員で最終的に 45 点を先にとった方が勝ちなので、45 点まで戦っていきます。いくらリードしていても、最後まで分からぬいし、必ずどちらかが点数を獲るまで終わらないので、時間を使って逃げ切るということもない、とこどん相手の作戦にはまると、あっという間に点数が重なっていくというのが、他の競技にはない戦いの決め方だと思います。

刈屋：突かれた時は痛くないですか？

江村：当たり所にもありますが、基本的にはよほどでないと気になりません。

刈屋：突いたり斬ったりした時の快感は、ホームランやシュートを決めた時の快感のようだという話を聞きますが、どうなのでしょうか。

江村：戦術的な面でいろいろなことを組み立てていくので、最終的にそれがはまつた時は、相手がスローモーションに見える瞬間があります。

刈屋：フェンシングはヨーロッパの騎士道ですが、その騎士道精神は残っていますか。

江村：馬を傷つけない上半身だけというところにも含まれていますし、最初にサリューという剣の持ち手を口に近づけ、その後剣先を相手と審判、お客様に向けて挨拶をします。投げキスのような雰囲気です。最後は必ず握手で終わります。

刈屋：フェンシングはどういう人が向いていますか。

江村：運動神経は関係ないので、誰にでも可能性のある競技だと思います。フェンシングは日常ではありませんので、その筋力は積み重ねないと堪えられない筋力だと思います。サーブルは見合う時間が無く、常にダッシュしているような試合展開の速さなので、まさに非日常的です。

刈屋：東京大会は個人では 13 位、団体では 5 位だったのですが、今振り返ってみてどうでしょうか。

江村：どちらも日本のサーブル史上最高の成績でしたが、その時はメダルを目標にしていたので、悔しい思いでした。でも今の自分から振り返ると、その時の自分を出し切った成果だと思います。

刈屋：そこから今日に至るまでの心の動き、技術的な流れはどのような感じですか。

江村：オリンピックが終わると燃え尽き症候群とか聞きますが、直後には私にはそれがなく、足りなかったものを身につければ絶対にメダルが獲れるというエネルギーで、オリンピック後の休暇も自主トレをしていました。しかし、その結果、オリンピック直後でなくて、年末頃に急にふっとエネルギーが湧かない時が来て、それが今思うと燃え尽き症候群だったのかなと思います。その時に立飛さんに励ましてもらったり、そのタイミングでフランスからコーチが来て指導してくれる

ようになったことが重なって、いろいろな技術や今までにない考え方や戦術を学んで、すごい柔軟な戦い方ができるように変わったと思います。

精神的な部分では、自分のフェンシングから反ってはいけないという戦い方の軸があって、それを貫かないといけないと思っていました。それが、いろいろなタイプの相手がいますし、その日の繊細な感覚の違いで技が決まる、決まらないが変ってくるので、その日によって、相手によって、自分の戦い方を変えても良いのだと思い、戦い方が柔軟になりました。

刈屋：今、世界の頂点となったのですが、パリに向けてはどうですか。

江村：フルーレ、エペときて、まだ初が取れるというのが残っているというのは、前例がない分、自分で探りながらいく道ではありますが、とても恵まれている環境だと思っています。その初を自分で勝ち取れるように、まだまだ成長を止めずに頑張っていきたいと思っています。

刈屋：最後になりますが、今後も江村選手を応援して頂ければと思います。



※最後に、伊藤良三会員の
ウィットに富んだ質問で
終了となりました。

ニコニコ発表　親睦活動委員会　山田照夫委員

大野芳裕会長

本日は江村選手、刈屋様、エクストドリーム安藤様、立飛ホールディングス藤本様、井上様、藤島様、多摩スポーツクラブ原様、お忙しい中、ありがとうございます。卓話の時間楽しみにしております。

中川夕香幹事

江村選手、刈屋様、本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしております。

岩崎春伸会員

5人制バスケット立川ダイス開幕を迎え頑張って下さい。応援しています。

練木亮介様

これから、どうぞよろしく
お願い致します。

本日合計 23,000 円
本年度累計 721,000 円
本日のコーヒーBOX 0 円
コーヒーBOX累計 5,700 円



出席報告

出席委員会 竹内幸雄委員

9月27日(火)	
会員数	86名
出席義務会員	81名
出席免除会員	5名
当日出席会員	63名
出席率	75.90%
前々回の出席率	



掲示板

例会変更

◆東京国立ロータリークラブ

10/19(水) 移動例会 スポーツ例会

◆東京立川ロータリークラブ

10/28(金) → 優良職業人・社会奉仕功労者表彰例会

*メイク不可

*コロナ対策を継続中のため、ビィジターの方は事前にご連絡願います。休会日・移動例会日の例会場でのメイクはお受けできません

◆東京井の頭ロータリークラブ

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、当分の間、
メークアップ対応は中止します。

今後の予定

10/11(火) 卓話例会 立川駅 板垣駅長
「立川駅から」

10/18(火) 卓話例会 「R財団卓話」
元R財団奨学生 WHO勤務 武見綾子様

10/25(火) 新会員歓迎夜間例会「新会員卓話」

11/1(火) 定款第7条第1節により休会



本日の司会
SAA 丸山瑞枝副委員長

tachikawakobushi-rc.tokyo

Weekly Report

発行者／東京立川こぶしロータリークラブ 会長 大野芳裕

事務局／東京都立川市高松町3-13-17 イグレック立川501号 tel: 042-527-0524 fax: 042-522-5241 E-mail: kobushi@cap.ocn.ne.jp

例会場／ホテルエミシア東京立川 東京都立川市曙町2-14-16 tel: 042-525-1121 記事・写真担当：公共イメージ委員会